

製品名: TIP60 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80598

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	TIP60
別名	TIP60 (HTATIP)
遺伝子 ID	10524.0
SwissProt ID	Q92993
免疫原	大腸菌で発現したヒト TIP60 の精製された組み換え断片。

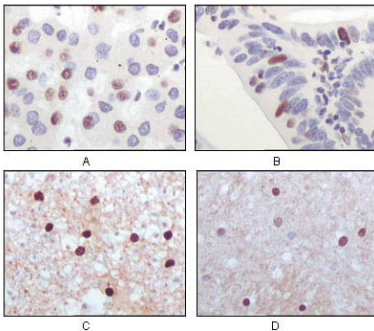
背景

HTATIP (HIV-1 Tat 相互作用タンパク質 TIP60、約 60kDa) は、ヒストンアセチルトランスフェラーゼ (HAT) の MYST ファミリーに属し、もともと HIV-1 TAT 相互作用タンパク質として単離されました。HAT は、ヒストンおよび非ヒストンタンパク質をアセチル

化することにより、クロマチンリモデリング、転写、およびその他の核プロセスを制御する上で重要な役割を果たします。4つのコアヒストンタンパク質 (H2A、H2B、H3、および H4) で構成されるヌクレオソームは、クロマチンの主要な構成要素です。クロマチン構造を制御する翻訳後ヒストン修飾の数は増加傾向にありますが、細胞は標準ヒストンをバリエーションヒストンと交換することで、クロマチン構造を直接的または間接的に調整することができます。ヒストン H2A には、標準 H2A (最も豊富)、H2A.X、マクロ H2A、H2ABbd、および H2A.Z の 5 つの主要なバリエーションがあります。ヒストン H2A.Z は、種を超えて最も保存されたバリエーションであり、転写の正と負の両方の調節因子として機能し、染色体の安定性に重要です。SWR-C、TIP60、SRCAP (哺乳類) などの相同タンパク質複合体は、ヌクレオソームにおいて ATP 依存的に H2A.Z から H2A への交換を触媒することが示されています。このタンパク質はヒストンアセチラーゼであり、DNA 修復とアポトーシスに関与し、シグナル伝達において重要な役割を果たすと考えられています。

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌 (A)、直腸癌 (B)、正常髄質組織 (C)、および正常脳間組織 (D) の免疫組織化学分析。DAB 染色による Tip60 マウス mAb を使用して核局在を示しています。